

カゴメ歌の謎解きと医療哲学

生命鑿療は円の鑿療

はじめに

第一章 生命鑿療を行なう鑿師でありたい

- 1、なぜ医療でなく鑿療、医師でなく鑿師か
- 2、生命鑿療と生命鑿
- 3、科目横断的診療・宗教的な鑿療・易学診
- 4、生命とは円・球であり、中心帰一の回転コマ運動をしている
- 5、途切れのない、分けできない一つの大生命
- 6、前方後円・天円地方の真理
- 7、天円地方の真理と『吾唯足るを知る』の精神
- 8、生命とは呼吸である
- 9、自然治癒力の根拠と“適応病”
- 10、病は陰陽のアンバランスで頭熱足寒のこと
- 11、頭熱足寒と体表温度
- 12、機能的中心としての丹田の重要性
- 13、丹田を意識することが病の予防・治療の鍵
- 14、現代西洋医療と生命鑿療の病のとらえ方の違い
- 15、総合医療・全人的医療・ホリスティック医療・統合医療等と生命鑿療との違い
- 16、禊は大自然回帰の生命鑿療の一環
- 17、なぜ、医師を志したのか
- 18、生命鑿療の基礎
- 19、生命鑿療時代の幕開け

第二章 カゴメ歌の謎解きと生命鑿療

- 1、カゴメ歌の謎
- 2、カゴメ歌の謎解き
 - (1) カゴメと鳥
 - (2) 鳥が出るとき、それは夜明けの晩の今・現在
 - (3) 鶴と亀がす～べったの意味
 - (4) 後の正面はたましい

(5) カゴメ歌はたましいの覚醒を呼びかける歌

3、カゴメ歌の謎解きの解説

(1) 六角形と円・球形は表裏

(2) 天円地方と前方後円の謎解き

(3) カゴメの六角形の特別な意味

水の氷結結晶の六角形と神経・ホルモンの六員環

6、36、666等の6にまつわる数字の意味

医療面で世界的に注目を浴びるバッキーボール

六角堂の謎解き

六角形と国津神

カゴメ歌の謎解きのシンクロニシティ

(4) 「籠の中の鳥」の意味

籠の中の鳥は火の鳥でたましいを象徴

たましいと Spirit そして Respiration の語源

たましいの中心帰一と秩序と永遠性

エマーソンの円と聖アウグスティヌスの神の本質

自然界および神の本質と水の本質とホログラフィー理論

人に見るホログラフィー理論と東洋医学

カゴメ歌の形と動きは中心帰一の回転運動

(5) 「いついつ出や～る」と「夜明けの晩に」の意味

今・現在が夜明けの晩

鳥は出始めている

健康の定義改正論議と Spiritual の意味

人は霊止（ひと）

健康の語源とホリスティック医療の意義

ホリスティック医療から生命医療へ

生命医療は宇宙の真理あるいは神・仏を中心におく医療

仏と佛の違い

(6) 「鶴と亀が統べる」意味

天地の一体化

知性と霊性（感性）が兼ね具わる

宇宙飛行士の“みんな一つ”の体験

苦と楽・吉と凶・成功と失敗も一つ

神・仏と解脱・悟りの本当の意味

即身成仏・神人合一・天人合一・坐禪の本当の意味

エデンの園での失樂園・原罪・Religion の本当の意味

人類の歴史は神のプログラム・宇宙の弁証法的発展

科学と宗教の本当の意味と本当の関係

科（とが）の学の科学とアヘンの宗教

正反合の合の医療としての生命医療

(7) 「後の正面だ～れ」の意味

たましいの覚醒は生命の覚醒

生命の覚醒は円・球・輪・環・和の意識の覚醒

4、カゴメ歌の意義

(1) 諸問題の解決

(2) 生命の形・円がわかればすべてが解ける

(3) 円のつく名前

(4) 円と和と日本

(5) 国旗掲揚・国歌斉唱と伊勢神宮参拝

(6) 中心帰一の生命教育・円の教育

(7) 中心帰一の政治

(8) 「医は仁術なり」は中心帰一の生命医療のこと

(9) 医師と宗教家と教育者

(10) 日本の役割

第三章 生命医療の試み

1、生命のかたちと動き

(1) 流転輪廻

(2) 病とは陰陽のアンバランス

2、丹田と心腎交通

3、生活習慣病や老化の本体は頭熱足寒

(1) 頭熱足寒の基本形は相火の“上がり”

(2) 生活習慣病や老化は“上がり”の蓄積した姿

(3) 白髪や脱毛も過剰な相火に由来

4、冷えでなく熱が万病の元

(1) 熱が万病の元、煩惱の意味

(2) 冷えと病の関係

(3) 冷え症なのにビールやアイスクリームが好きな人がいる理由

5、熱が万病の元と思われる実例

(1) 心筋梗塞・脳血管障害・肝硬変・間質性肺炎・アルツハイマー

(2) 眼精疲労・白内障・緑内障・ドライアイ・ドライマウス

(3) 睡眠時無呼吸症候群

(4) 潰瘍性大腸炎

(5) 悪性腫瘍(がん)

(6) 風邪やリウマチ

6、万病相火一元論(

(1) 生活習慣に由来する病は、相火の過不足によって起こる

(2) 相火“熱”論と傷寒“冷え”論

(3) 頭寒足熱のための天台小止観と白隠内観法

(4) 相火の管理は生活習慣の管理

7、生活習慣の管理は念の管理

(1) 身口意の三業の管理

(2) 今の心である念の管理

8、身口意三密健康法

(1) 身口意三業から身口意三密へ

(2) 身口意三密健康法の応用

(3) “ありがとう”は中心帰一の円運動の言葉

9、正念工夫と天円の発想

10、禊は天地一体化の実践

第四章 生命医療の臨床

1、生命医療は単純・明解

2、生命医療の臨床症例

症例1、70代 女性。左手第2指が30年来曲がらない。症例2、40代 女性。肩こり、眼精疲労。症例3、70代 女性。顎関節症。症例4、60代 男性。腰痛。症例5、50代 女性。五十肩。症例6、50代 男性。頸部リンパ節腫。症例7、20代 男性。潰瘍性大腸炎。症例8、60代 女性。膠原病(強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎)、高脂血症、肝機能障害等。症例9、30代 女性。膠原病(混合性結合組織病)。症例10、40代女性。悪性リンパ腫(非ホジキン型)、自律神経失調症。症例11、70代 女性。胃がん、喉頭がん。症例12、50代 男性。胃がん。症例13、40代 女性。慢性関節リウマチ。症例14、20代 女性。網膜色素変性症。症例15、20代、女性。アトピー性皮膚炎、生理痛。症例16、40代 男性。高音性耳鳴り、低音性難聴、聴覚過敏。

3、生命医療における病の予防・治療法

1)キーワードは中心帰一の回転運動

2)身体一つ・コストフリーでできる予防・治療法

呼吸

- 、生命とは呼吸である
- 、呼気がポイント・ため息の効用
- 、吐いて生まれて吸って死ぬ
- 、泣いても免疫が上がる

天台小止観・白隠内観法

- 、中心帰一して本来の自分に戻る
- 、坐禅と医療
- 、たましいの自分は何でも知っている

読経・祝詞・祈り

- 、般若心経
- 、観音経
- 、延命十句観音経
- 、祝詞（のりと）
- 、祈り

襖

3)東洋医学

4)気功

5)サイマトイクス音響療法

6)情報推命学

7)アロマセラピー

8)グッズ

アーツマン

爪もみリング

つむじ風くん

バイオラパー

9)サプリメント

福寿、セルピュア・シリカ、フコイダン、セレン・パパイア、万寿霊茸、ショーキ等々

おわりに

資料：天台小止観[天台大師・智顛：てんだいだいし・ちぎ]（抜粋）、白隠内観法
[白隠禅師：はくいんぜんじ]六角田中医院バージョン、般若心経、観音経、
延命十句観音経、坐禅和讃、天津祝詞。